

# 高塚直裕と川手鷹彦によるサロン文化

このたびは「魔女ランダと心の変容」について対談します

2001年から2007年までの7年間

バリ島に於ける12度のランダ舞を通じて変容した川手の内面を  
医師高塚が解説し、人の魂の変遷と浄化について考える  
そして、密度濃い知的文化の後は味わい深い食文化を



## 2014. 4. 29. (火・祝)

14:30 開場 15:00 開演

### 詩と藝術の館ポエティカ

夕張郡長沼町幌内（ポロナイクリニック隣）

参加費 2,000円 問合先 電話 0123-84-2864（ポロナイクリニック）

\*藝術プログラムの内容から、小学三年生以下のお子様は入場できません。

#### 高塚直裕（たかつかなおひろ）

精神科医・ポロナイクリニック院長・北海道岩見沢児童相談所嘱託医  
白樺の木立に狐が訪れ、池と小川に葦の揺れる院庭に、詩と藝術の館  
ポエティカを建設し主宰、多くの才能あるアーティストに発表・公演の場を  
提供する。なおポエティカは、命名川手鷹彦、設計畠中秀幸によるもの  
である。

#### 川手鷹彦（かわてたかひこ）

演出家、著述家、治療教育者

スイス・ゲーテアヌム言語造形 - 舞台芸術学院卒業。

日欧の子どもの心の保護に携わる。バリ島では2001年～2007年に12度「魔女ランダ」を舞い、ヒンドゥ  
浄化儀礼の最奥を支えた。2000年に法務省保護局の依頼で始まった「オイディプス王」等、各地の演劇塾は  
大きな社会的反響を呼んでいる。また東京大学等での美的・藝術的な講義内容が好評を博す。現在、一般財団  
法人《花の家》（北海道・東京・沖縄）代表理事。著書に『隠された子どもの叡知』（誠信書房）、物語集十  
物語論『とらのおおかみ、子どもらの心が生んだ物語』（地湧社）など。